

# 第22回 大動脈 ステントグラフト 研究会

**目 時**：2018年7月6日(金) 13:00~17:30

同日に第24回日本血管内治療学会総会が開催されております。

**会 場**：神戸国際展示場2号館 C会場

兵庫県神戸市中央区港島中町6-11-1

TEL:078-302-1020

※開催当日に受付にて参加会費3,000円を申し受けます。

**当番幹事**：神戸大学放射線科・血管内治療センター  
**杉本 幸司**

AORTIC STENT GRAFT

詳細はwebサイトをご参照ください  
<http://stentgraft.kenkyuukai.jp>

[事務局]

奈良県立医科大学放射線医学教室内  
〒634-8522 奈良県橿原市四条町840  
TEL:0744-29-8900 FAX:0744-24-1988  
E-mail : rad@naramed-u.ac.jp

# プログラム

## ●開会の辞

神戸大学放射線科・血管内治療センター 杉本幸司 先生

## セッションⅠ

13:00～13:40

座長 神戸大学放射線科・血管内治療センター 山口雅人 先生  
コメンテーター 静岡市立静岡病院 三岡 博 先生

1. 塞栓用コイルがIVC内に迷入した動静脈瘻を有する内腸骨動脈瘤の1例  
山形大学医学部 外科学第二講座  
廣岡秀人、山下 淳、内田徹郎、浜崎安純、五味聖吾、黒田吉則、水本雅弘、石澤 愛、赤羽根健太郎、貞弘光章
2. 内腸骨動脈瘤合併腹部大動脈瘤に対するVIABAHNとExcluder IBEを用いた内腸骨動脈再建  
東京慈恵会医科大学 外科学講座 血管外科  
原 正幸、阿部 正、百瀬匡亨、大森慎子、手塚雅博、瀧澤玲央、馬場 健、前田剛志、立原啓正、金岡祐司、大木隆生
3. short aortoiliac lengthに対するExcluder IBE留置の工夫 – pretzels technique –  
静岡市立静岡病院 心臓血管外科  
寺井恭彦、三岡 博、宮野雄太、中井真尚、三浦友二郎、後藤新之介、川口信司、山崎文郎
4. 潰瘍性大腸炎を合併した腹部大動脈瘤および両側腸骨動脈瘤に対してExcluder IBEを使用した1例  
立川メディカルセンター 立川総合病院 心臓血管外科  
大場栄一、浅見冬樹、梅澤麻以子、武居祐紀、木村光裕、岡本祐樹、山本和男、吉井新平
5. Excluder IBEのInternal Iliac Component3型endoleak回避のための注意点  
神戸大学医学部附属病院 放射線科・血管内治療センター<sup>1</sup>、心臓血管外科<sup>2</sup>  
山口雅人<sup>1</sup>、杉本幸司<sup>1</sup>、佐々木康二<sup>1</sup>、元津倫幸<sup>1</sup>、谷 龍一郎<sup>1</sup>、上嶋英介<sup>1</sup>、小出 裕<sup>1</sup>、岡田卓也<sup>1</sup>、村上卓史<sup>1</sup>、  
後竹康子<sup>2</sup>、中井秀和<sup>2</sup>、山中勝弘<sup>2</sup>、田中裕史<sup>2</sup>

## セッションⅡ

13:40～14:28

座長 兵庫県立姫路循環器病センター 心臓血管外科 野村佳克 先生  
コメンテーター 国立循環器病研究センター 放射線部 福田哲也 先生

6. EVAR後の空置瘤瘍瘍形成に対し、ステントグラフト抜去及び右腋窩ー両側総大腿動脈バイパスを施行した一例  
旭川医科大学 外科学分野 血管・呼吸・腫瘍病態外科学分野  
栗山直也、古屋敦宏、鎌田啓介、内田大貴、竜川貴光、桒窪 藍、菊地信介、東 信良
7. Y graftからの多発リークに起因する腹部大動脈瘤拡大に対してステントグラフト内挿術を施行した一例  
大分大学医学部 放射線医学講座<sup>1</sup>、心臓血管外科学講座<sup>2</sup>  
亀井律孝<sup>1</sup>、本郷哲央<sup>1</sup>、大地克樹<sup>1</sup>、松本俊郎<sup>1</sup>、川野まどか<sup>2</sup>、田中秀幸<sup>2</sup>、宮本伸二<sup>2</sup>
8. 高度屈曲を伴う腹部大動脈、両側総腸骨内腸骨動脈瘤に対するEVAR中の対側脚カニューレション困難症例  
長野赤十字病院  
伊達勇佑、藤井大志、福家 愛、寺崎貴光、坂口昌幸、高野 環
9. EVAR5年後に脚逸脱が原因と考えられた腹部大動脈瘤破裂に対して追加血管内治療が難渋した1例  
社会医療法人 石心会 川崎幸病院 川崎大動脈センター血管内治療科  
長谷聡一郎、中川達生、鹿島正隆、山崎元成、守屋信和
10. Type2 エンドリークによる瘤径拡大と考え塞栓術を行なったが、瘤径拡大が収まらず、  
開腹術にてType3bエンドリークが判明した一例  
国立循環器病研究センター 放射線部<sup>1</sup>、血管外科<sup>2</sup>  
堀 祐郎<sup>1</sup>、小徳暁生<sup>1</sup>、渡邊慶明<sup>1</sup>、西井達矢<sup>1</sup>、河野 淳<sup>1</sup>、森田佳明<sup>1</sup>、大村篤史<sup>2</sup>、松田 均<sup>2</sup>、福田哲也<sup>1</sup>
11. hostile neckを有するAAAに対するEVAR施行時main bodyが瘤内に逸脱してしまった一例  
北播磨総合医療センター 放射線診断科<sup>1</sup>、心臓血管外科<sup>2</sup>、神戸大学放射線科・血管内治療センター<sup>3</sup>  
宮本直和<sup>1</sup>、山田章貴<sup>2</sup>、顔 邦夫<sup>2</sup>、梶原彰文<sup>1</sup>、難波富美子<sup>1</sup>、麻田達郎<sup>2</sup>、足立秀治<sup>1</sup>、冨田 優<sup>1</sup>、杉本幸司<sup>3</sup>

休 憩

14:28～14:40

## スポンサーセッション

共催会社 第一三共株式会社

14:40～15:25

座長 神戸大学放射線科・血管内治療センター 杉本幸司 先生

TEVAR時代におけるB型大動脈解離の治療戦略 ～内科医からみた治療介入のタイミング～  
神戸市立医療センター 中央市民病院 循環器内科  
加地修一郎 先生

セッションⅢ

15 : 35 ~ 16 : 15

座 長 聖マリアンナ医科大学 放射線医学 小川晋久 先生  
コメンテーター 国立循環器病研究センター 心臓血管外科 松田 均 先生

12. TEVAR、EVAR術後消費性凝固障害による出血に難渋した1例

東京医科大学 心臓血管外科

鈴木 隼、西部俊哉、岩橋 徹、神谷健太郎、松本龍門、丸野恵大、藤吉俊毅、河合幸史、高橋 聡、小泉信達、荻野 均

13. 4D-CTにてGORE CTAGのtypeⅢbエンドリークと診断した1例

横浜市立大学附属市民総合医療センター、心臓血管センター

長 知樹、内田敬二、軽部義久、南 智行、伏見謙一、藪 直人、串田好弘、菊西啓雄、朱 美和、益田宗孝

14. 下行大動脈(Th6-12)TEVAR後、弓部大動脈瘤状瘤に対して、  
全弓部置換術+オープンステントグラフト術を安全に施行した1例

東京都健康長寿医療センター 心臓外科

河田光弘、村田知洋、眞野暁子、西村 隆、許 俊鋭

15. 頸部分枝に血栓を有する弓部大動脈瘤に対して、ECMOによるmodified isolation techniqueを併用し  
2 debranch TEVARを施行した1例

兵庫県立姫路循環器病センター 心臓血管外科

長尾兼嗣、野村佳克、長谷川翔太、河嶋基晴、辻本貴紀、泉 聡、松森正術、村上博久、本多 祐、向原伸彦

16. Endoconduitとして留置したVIABAHNがTEVAR時にmigrationした1例

奈良県立医科大学 放射線科・IVRセンター

岩越真一、岸田 勇、永富 暁、田口秀彦、市橋成夫、吉川公彦

セッションⅣ

16 : 15 ~ 17 : 11

座 長 川崎幸病院 川崎大動脈センター血管内治療科 長谷聡一郎 先生  
コメンテーター 大分大学 心臓血管外科 宮本 伸二 先生

17. 緊急fenestrated EVARで救命し得なかったTAAA rupture with Leriche syn.の一例：手術手技の工夫と  
改善点の検討

市立函館病院 心臓血管外科

新垣正美、森下清文、柴田 豪、鶴田航大

18. 開胸困難な胸腹部大動脈瘤破裂に対してdebranch TEVARで救命した1例

愛知医科大学 血管外科<sup>1</sup>、放射線科<sup>2</sup>

折本有貴<sup>1</sup>、石橋宏之<sup>1</sup>、山田哲也<sup>1</sup>、丸山優貴<sup>1</sup>、今枝佑輔<sup>1</sup>、三岡裕貴<sup>1</sup>、細川慶二郎<sup>1</sup>、有馬隆紘<sup>1</sup>、鈴木耕次郎<sup>2</sup>

19. SMA虚血を伴った急性B型大動脈解離に対するTEVARとその経過

松原徳洲会病院 放射線科<sup>1</sup>、心臓血管外科<sup>2</sup>、奈良医大 放射線科<sup>3</sup>

阪口昇二<sup>1</sup>、垣井文八<sup>2</sup>、内野 学<sup>2</sup>、古井雅人<sup>2</sup>、吉田 毅<sup>2</sup>、岩越真一<sup>3</sup>、市橋成夫<sup>3</sup>、吉川公彦<sup>3</sup>

20. タイプⅣ 胸腹部大動脈瘤ハイリスク例に対してfenestrated EVARを施行した一例

赤穂中央病院 心臓血管外科<sup>1</sup>、森ノ宮病院 心臓血管外科<sup>2</sup>

北川敦士<sup>1</sup>、山田幸夫<sup>1</sup>、長尾俊彦<sup>1</sup>、加藤雅明<sup>2</sup>

21. 慢性解離性胸腹部大動脈瘤に対してEVARおよび偽腔コイル塞栓にて偽腔の完全血栓化が得られた一例

兵庫県立淡路医療センター 放射線科<sup>1</sup>、心臓血管外科<sup>2</sup>、神戸大学医学部附属病院 血管内治療センター<sup>3</sup>

魚谷健祐<sup>1</sup>、濱中章洋<sup>1</sup>、松尾秀俊<sup>1</sup>、伊藤貴代<sup>1</sup>、松永卓明<sup>1</sup>、宮永洋人<sup>1</sup>、山崎愉子<sup>1</sup>、久島健之<sup>1</sup>、濱口真理<sup>2</sup>、深瀬圭吾<sup>2</sup>、  
南 一司<sup>2</sup>、杉本貴樹<sup>2</sup>、杉本幸司<sup>3</sup>

22. 血栓閉塞型Stanford A型急性大動脈解離下行大動脈ULPに対してTEVAR施行後に  
逆行性Stanford A型急性大動脈解離、残存解離腔拡大に対して加療した1例

川崎医科大学 心臓血管外科

栗田憲明、山根尚貴、本田 威、山澤隆彦、渡部芳子、古川博史、田淵 篤、柚木靖弘、金岡祐司、種本和雄

23. 大動脈高度石灰化例における急性A型大動脈解離に対するTEVARの一例

国立循環器病研究センター 心臓血管外科<sup>1</sup>、放射線科<sup>2</sup>

小野謙数<sup>1</sup>、大村篤史<sup>1</sup>、堀 祐郎<sup>2</sup>、小徳暁生<sup>2</sup>、井上陽介<sup>1</sup>、清家愛幹<sup>1</sup>、上原京典<sup>1</sup>、佐々木啓明<sup>1</sup>、松田 均<sup>1</sup>

●閉会の辞

奈良県立医科大学 放射線医学教室・IVRセンター 吉川公彦 先生